



どのように生き
何を残したのか



境界線上の彼女たち

—ねね・鶴姫・南部麻—

会期 令和6年10月5日(土)～11月24日(日)

八戸市博物館 開館40周年記念 令和6年度秋季特別展



八戸市博物館



青森県八戸市大字根城字東構35-1 ☎0178-44-8111

〔休館日〕 10月15日(火)・21日(月)・28日(月)
11月5日(火)・11日(月)・18日(月)

〔入館料〕 おとな 300円 高・大 150円
※中学生以下は無料 ※団体料金あり
※市内在住65歳以上の方は半額
※障がい者手帳等の保持者と同伴者1名は半額

〔無料開放日〕 10月12日(土)「史跡根城まつり」のため
11月3日(日)「文化の日」のため

〔協力機関〕 一戸町教育委員会、岩手県立図書館、光籠寺、株式会社集英社、
遠野市、遠野市立博物館、南宗寺、新田城まつり実行委員会、
もりおか歴史文化館、安田勝寿コレクション、八戸市立図書館

【併催イベント】

1 講演会

会場：博物館 参加無料(要申込/定員80名)

- (1) 演題「中世女性のワードローブ
—衣服から髪型、きこなしまで—
日時：10月27日(日) 13時30分～
講師：立正大学文学部 教授
佐多 芳彦 氏



- (2) 演題「武家の相続と女性
—ねね・鶴姫・南部麻が担った役割—
日時：11月16日(土) 13時30分～
講師：東北学院大学
東北文化研究所特別研究員
菊池 慶子 氏



2 体験学習会

参加無料(要申込/定員15名)

- (1) はじめてのなぎなた
日時：①10月14日(月・祝)
②11月2日(土)
各日10時00分～11時30分
講師：青森県なぎなた連盟八戸支部
会場：史跡根城の広場(屋外)
※雨天時は根城公民館
※小学生以下は保護者同伴



3 根城 SHOW TIME

整理券配布(事前)/観覧無料

日時：10月19日(土) 10時30分～15時30分
会場：史跡根城の広場(特設ステージ)

- ①わんだふるぷりきゅあ! ショー
(10:45～/14:15～)



- ②戦国ファッションショー
協力：千葉学園高等学校・根城小学校・長坂保育園
- ③オリジナルグッズ抽選会(午前午後各1回)
※詳細はHP・SNSに掲載します。

4 ギャラリートーク

日時：①10月13日(日) ②11月4日(月・休)
各日14時00分～
※特別展を観覧の方はどなたでも参加できます。
(要入館料)



図録(A5版/112p/10月5日刊行予定)

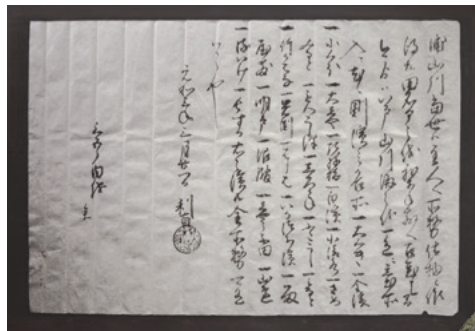
しかし彼女たちに関する当時の記録はわずかでその存在は僅く曖昧なものといえます
時代の過渡期に家名を背負った彼女たちは果たしてどのように生き何を残したのか…
本展では数少ない資料を手掛かりに不安定な時世その境界線上に立った彼女たちの実像に迫ります

南部の血脈をつないだ女当主 麻

幕末最後の藩主を迎えた正室 鶴姫

乱世の終焉を見届けた清廉の人 ねね

八戸が歩んできた歴史の分岐点において重要な役割を果たした三人の女性たち…



南部利直黒印状(影写本)



南部 麻子



姫塚(光龍寺)



県重宝 唐草南部鶴紋蒔絵漆器



左：中島京子 『かたづの!』(小説)

右：里中満智子 『かたづの!』(コミック版)



【協力機関】
一戸町教育委員会、岩手県立図書館、光龍寺、株式会社集英社、遠野市、遠野市立博物館、南宗寺、新田城まつり実行委員会、もりおか歴史文化館、安田勝寿コレクション、八戸市立図書館

- 【展示構成】
- 序 歴史に描かれる彼女たち
 - 根城南部家当主・ねね
 - 最後の藩主正室・鶴姫
 - 八戸南部家当主・麻子
 - 結 彼女たちが繋いだ「八戸」